<銀行信販データ受信機能> トランザクション認証への対応手順書

※インターネットバンキングの「ログイン認証方式」により対応手順が異なります。それぞれ以下の頁をご確認ください。

1. 電子証明書方式・・・・2 頁

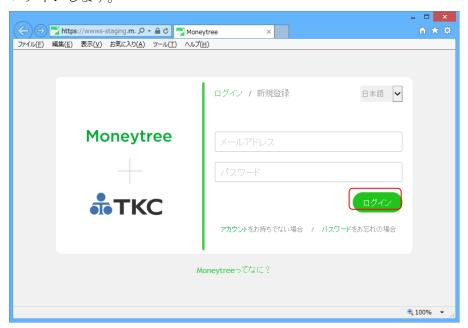
2. ID・パスワード方式 ・・・9 頁

(作成:令和2年9月25日 TKCシステム開発研究所)

(1) トランザクション認証の初期設定が完了していない場合、F X クラウドシリーズで「銀行信販データ受信」メニューを選択した際に、「エラー(MT0002)」と表示されます。当エラーが表示された場合は、ハンバーガーメニューから [設定] - [共通] - [データ連携設定] メニューをクリックし、[Moneytree にログイン] ボタンをクリックします。



(2) FinTech サービスのログイン画面が開きます。メールアドレスとパスワードを入力し、ログインします。



(3) 画面上部で [法人口座] を選択します。



(4) 該当の金融機関について「認証情報に誤りがあります」とのメッセージが表示されています。[こちらをご確認ください] ボタンをクリックします。



(5) 次の画面が表示されます。それぞれ以下の通り入力します。



行	入力項目	入力すべき内容
1	登録方法	カメラ付きトークンの登録方法を選択します。
		1. 新規トークンを利用する
		同じ企業内で誰も利用していないトークンを使って
		データ受信を行う場合は、こちらを選択します。
		2. 利用開始登録済みトークンを利用する
		同じ企業内で既に他のユーザが利用中のトークンを共
		用する場合は、こちらを選択します。
2	シリアル番号、または	1. 行1で「新規トークンを利用する」を選択した場合は、
	トークンコード	トークンの裏面のシリアル番号をハイフン無しで入力し
		ます (※1)。
		例)「51-1103755-6」の場合は「5111037556」
		2. 行2で「利用開始登録済みトークンを利用する」を選択
		した場合は、トークンに表示される「トークンコード」を
		ハイフン無しで入力します (※2)。
		例)「FDM1234567-8」の場合は「FDM12345678」

※1:シリアル番号はトークンの裏面に貼られたラベルに印字されています。



※2:トークンコードは以下の方法で確認できます。



(6) 上記(5)で、「新規トークンを利用する」と「利用開始登録済みトークンを利用する」 のいずれを選択するかにより、以降の処理が異なります。

(6)-1.「新規トークンを利用する」を選択した場合

①「画像認証が必要」とのメッセージが表示されます。[こちらをご確認ください] ボタンをクリックします。



②以下の画面が表示されます。カメラ付きトークンで画像を読み取り、トークンに表示された番号(12 桁)を入力し、[Moneytree に接続する] ボタンをクリックします。



- ③再度、「画像認証が必要」とのメッセージが表示されます。[こちらをご確認ください] ボタンをクリックします。
- ④続いて、②と同様の画面が表示されます。カメラ付きトークンの「右ボタン」を3回押してカメラを起動し、画像を読み取ります。トークンに表示された番号(8 桁)を入力し、[Moneytree に接続する] ボタンをクリックします。



⑤続いて、「追加情報が必要」とのメッセージが表示されます。[こちらをご確認ください] ボタンをクリックします。



- ⑥続いて、次の画面が表示されます。必ず次の手順で操作してください。
 - 1) カメラ付きトークンの<u>「右ボタン」を2回押して</u>、トークンの設定を完了させます。 トークンには「The device is activated」と表示されます。
 - 2) 画面の入力欄に「完了」と入力し、[Moneytree に接続する] ボタンをクリックします。

【重要】必ずトークンの設定を先に行ってください!!

1)でトークンの設定を完了しないままに、2)の処理を行うとトークンがロックされ、利用できなくなってしまいます。お取引店舗での手続きが必要となってしまうため、ご注意ください。



(6)-2.「利用開始登録済みトークンを利用する」を選択した場合

①「画像認証が必要」とのメッセージが表示されます。[こちらをご確認ください] ボタンをクリックします。



②以下の画面が表示されます。カメラ付きトークンで画像を読み取り、トークンに表示された番号(8 桁)を入力し、[Moneytree に接続する] ボタンをクリックします。

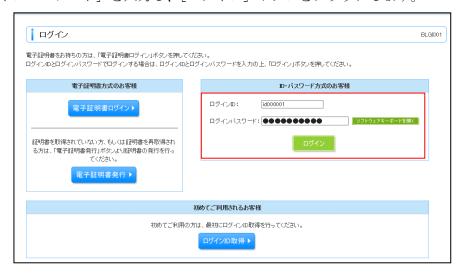


-以上で設定は終了です。-

(1) トランザクション認証の初期設定が完了していない場合、自計化システムで「銀行信販データ受信」メニューを選択した際に、「エラー(MT0001)」と表示されます。当エラーが表示された場合は、メニューを閉じ、インターネットバンキングを起動します。



(2) 銀行信販データ受信機能で利用している利用者でログインします。「ログインID」「ログインパスワード」を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



(3) カメラ付きトークンの初期設定を行います。なお、以降の処理は、同じ企業内で、既に初期設定したトークンがあるか否かにより異なります。

(3) - 1. 同じ企業内で初めてカメラ付きトークンの初期設定をする場合

①「トランザクション認証利用開始登録」画面が表示されます。



1)「シリアル番号」欄には、トークンの裏面のシリアル番号を入力します。



- 2) 次に、画面上に表示された二次元コードをカメラ付きトークンで読み取り、トークンに表示された12桁の数字を「トークン認証コード」欄に入力します。
- 3) 入力後、[トークン認証] ボタンをクリックします。
- ②続いて「トランザクション認証」画面が開きます。必ず次の手順で操作してください。
 - 1)カメラ付きトークンの「右ボタン」を3回押してカメラを起動し、画像を読み取ります。トークンに表示された番号(8 桁)を入力します。
 - 2) カメラ付きトークンの<u>「右ボタン」を2回押して</u>、トークンの設定を完了させます。 トークンには「The device is activated」と表示されます。
 - 3) 画面左下にチェックを入れ、[認証確認] ボタンをクリックします。

【重要】必ずトークンの設定を先に行ってください!!

2)でトークンの設定を完了しないままに、3)の処理を行うとトークンがロックされ、利用できなくなってしまいます。お取引店舗での手続きが必要となってしまうため、ご注意ください。



(3) - 2. 同じ企業内で既に初期設定済みのカメラ付きトークンがある場合

①「トランザクション認証利用開始登録選択」画面が表示されます。



1)同じ企業内で誰も利用していないトークンを使ってデータ受信を行う場合は、「新規トークン」を選択し、「トークン選択」ボタンをクリックします。

※以降の処理は「(3)-1. 同じ企業内で初めてカメラ付きトークンの初期設定をす

る場合」をご参照ください。

2)同じ企業内で既に他のユーザが利用中のトークンを共用する場合は、「利用開始登録 済みトークンを利用する」を選択します。共用するトークンのトークンコード(※) をコンボボックスで選択し、[トークン選択] ボタンをクリックします。

※:トークンコードは以下の方法で確認できます。



②上記①で「利用開始登録済みトークンを利用する」を選択した場合、「トランザクション認証」画面が表示されます。トークンで二次元コードを読み取り、表示される認証番号を入力します。 [認証確認] ボタンをクリックします。



ー以上で設定は終了です。「銀行信販データ受信」メニューを選択すると最新のデータを受信できます。-